

# 平成26年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

## 2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

- ① 担い手の高齢化によるボランティア不足を解消するために、ボランティア講座を催しました。宮崎地域ケアプラザの大人の学校のボランティアに繋げました。子育て支援ネットワークでは発達障害の講座を開催しました。地域の協力を得て障がい児が参加するお店を出店しました。プラザ開所15年の節目を迎えて第15回宮崎地域ケアプラザ祭りを開催しました。このようにさまざまな場面で地域の福祉保健活動や地域ケアプラザの設置目的・機能等を啓発・啓蒙しました。
- ② 地域の食事会には所長、地域活動交流、地域包括支援センターで連携して積極的に参加しました。その際に地域の福祉保健活動の周知・広報をしました。
- ③ ケアプラザに行くには坂を登り下りしなければならないため、ケアプラザに行きづらい地域がありましたが、野毛山荘に元気づくりステーションを立ち上げたため、地域の方が参加しやすくなりました。
- ④ ケアプラザ周辺に新しいマンションが次々と建設され、新しい住民が増えており、プラザの広報誌を町内会の回覧で周知したり、ケアプラザ祭りでも周知しました。若い世代の住民のために地域交流事業で0歳児親子事業や子育て支援の講座を開催しました。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ① 指定管理者として公の施設を公正・公平に管理しました。
- ② 常に快適な施設を目指し、地域住民が安全に安心して地域ケアプラザの利用ができるように設備等の保守点検を専門業者が定期的に行いました。
- ③ 月1回の委託業者による定期清掃のほか、職員も日常清掃・整理整頓に心がけ備品管理、警備そしてヨコハマ3R夢プランを推進しました。
- ④ 施設の花の手入れはボランティアの方に管理していただきました。また、3階の緑地帯の剪定や除草を年1回専門業者に依頼し、衛生および外観を整備しました。
- ⑤ 施設衛生においては感染症・食中毒予防などに力を入れ、手洗い、うがいの励行、感染・食中毒情報を随時職員に情報提供しました。11月~3月までは、全館の手すりやドアノブなどの消毒をしました。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ① 節水節電や資源の有効活動の心がけ、資源の日常的な無理・無駄・ムラを省くよう心がけました。
- ② 事務処理に関して、法人本部と連携して効率的に取り組みました。またインターネット上で価格を常に確認しながら比較検討して購入しました。委託業者も定期的に見直しました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ① 法人では公正・中立の立場から第三者委員を設置して適切な苦情解決に向け整備しました。
- ② 苦情対応マニュアルから苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整え、その情報を職員間で早急に共有して改善に努めました。
- ③ 職員が適切に対応できるよう窓口（苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページでの受付など）だけでなく、日ごろから意見を言いやすい環境関係づくりを目指しました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 事故等緊急時の対応マニュアルについて見直しを行いました。職員に周知共有化を図りました。
- ② 災害時特別非難場所としての役割を再度見直し、区役所との連携を深めました。災害備蓄物資の消費期限等の整備、適正な管理に努めました。
- ③ 年2回の避難誘導訓練を行い、終了後には必ず消火器の使用方法を確認しました。昨年度も津波等災害時に備えて防災委員会を開催しました。
- ④ 緊急連絡網を適宜更新しました。
- ⑤ AEDを更新し、小児用にも対応できるようにしました。
- ⑥ 夜間はセキュリティシステムが稼働しています。

#### オ 事故防止への取組について

- ① 事故等緊急時の対応マニュアルを見直し、職員に周知し、共有化を図りました。
- ② 業務中にヒヤリハットがある場合、今後も事故に繋がる可能性が高いため、その日にミーティングで報告注意喚起するとともに、防止策を検討して記録を残し、事故の未然防止に取り組みました。
- ③ 職員が日常的に点検や目視を行い、事故の発生予防に心がけました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ① （個人情報保護取扱い意識確認チェックリスト）を全職員で実施し、常に緊張感を持って対応しました。
- ② 個人情報に関わる書類等はすべて書庫に施錠して保管管理しました。
- ③ 不要となった情報はシュレッダーを使用して破棄しました。
- ④ 事業所等への個人の報告等は郵送を基本とし、FAXでの送信の場合は2回入力プラス2名での指さしダブルチェックの徹底をしました。
- ⑤ 携帯電話は首から紐で掛けるようにし、使用時は暗証番号入力を徹底しました。

#### キ 情報公開への取組について

- ① 法人のホームページで事業内容や決算報告等を公表しました。またホームページでも各事業の情報を随時更新しました。
- ② 神奈川県介護サービス情報公表システムや、横浜市の施設情報案内に情報を提供しました。各事業に関しては、広報紙で町内会への回覧や掲示板に、また地域の会合では広報紙を配布し事業の説明を行い、地域の方に広く周知しました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

- ① 横浜市の取り組みに準じて冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な照明の消灯、事務機器の電源オフ、ブラインドの使用などに取り組みました。
- ② ヨコハマ 3R 夢プランに基づき、貸し館利用者にごみの持ち帰り協力をお願いしました。
- ③ 個人情報が含まれていないかを確認してから使用済み紙の裏紙を活用しました。
- ④ ごみを分別し、職員の分別に関する意識を高めました。
- ⑤ 節水や節電に積極的に努めました。
- ⑥ 施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力を得て花壇の維持管理を行いました。
- ⑦ 宮崎まつりでもごみをそれぞれに分別し、来場者にも協力を得ました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

3職種（看護師1名・主任ケアマネジャー1名・社会福祉士1名）で介護予防支援業務に従事しました。

#### 《目標》

達成目標と支援方法を明らかにし、利用者本人とそのご家族、関係機関全員が統一した計画のもとで、自立に向けた支援を行いました。

#### 《実費負担》

- ありません

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

公正中立な立場で事業に取り組みました。また、区役所をはじめ、関係機関との連携のもと支援を行いました。

#### 《利用者数》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
104	110	112	116	108	108
10月	11月	12月	1月	2月	3月
109	109	108	107	110	106

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者… 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員… 2名（常勤専従）

《目標》

- ・ 要介護者やその家族が必要なサービスを適切に利用できるようなケアマネジメントを行います。又、インフォーマルサービスと連携する事で、質の高いケアマネジメントを目指しました。
- ・ 困難事例やターミナルケース等、緊急性の高いケースを積極的に受け入れました。

《実費負担》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 各ケアマネジャーの支援状況を報告・共有することで、困難事例への円滑なケアマネジメントをできるよう毎週ミーティングを行っております。随時、包括支援センターとも連携しております。
- ・ 各種講習会・研修に参加する事で、H27年度報酬改定へ向けた準備や専門職としてのスキルアップを図っております。
- ・ 区内の主任ケアマネジャーが主催する勉強会に参加し、専門職としてのスキルアップを図っております。
- ・ 専門性を高める為、5年以上経験のあるケアマネジャーは主任ケアマネジャー研修に参加します。

《利用者数》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
88	93	96	92	83	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
81	83	88	88	92	98

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 生活指導（相談援助）
- 日常機能訓練（日常生活動作）
- レクリエーション
- 介護サービス（食事、排泄、介助等）
- 健康状態の確認
- 送迎 給食 入浴

《実費負担》

- 1割負担分
 

（要介護1）	733	円		
（要介護2）	862	円	（要介護3）	995
（要介護4）	1,129	円	（要介護5）	1,262
				円
- 食費負担 700 円（おやつ代含む）
- 入浴負担 53 円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 13 円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 1.9%×地域単  
位10.54円の1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9：00～16：00、9：30～16：30

《職員体制》

管理者	1名	（常勤兼務1名）
生活相談員	4名	（常勤兼務4名）
看護職員	3名	（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
介護職員	13名	（常勤兼務5名、非常勤8名）
機能訓練指導員	3名	（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
運転業務職員	7名	（常勤兼務2名 非常勤3名 非常勤兼務2名）

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ、自立した日常生活ができるようサービスを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行いました。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れ行いました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。
- ⑧ 調査結果を掲示版に貼付し利用者様へ報告致しました。
- ⑨ レクリエーションの充実：トランプ・マージャン・書道など、ご自身で選択していただきました。また好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきました。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けました。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしました。（折り紙・貼り絵等）

《利用者数（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
530	556	557	579	613	578
10月	11月	12月	1月	2月	3月
587	573	522	506	482	540

## ● 介護予防通所介護事業

### 《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助）
- サービス計画に基づいた機能訓練
- 送迎・入浴
- レクリエーション
- 給食

### 《実費負担》

#### ● 1割負担分

（要支援1） 2, 230円（月額）

（要支援2） 4, 465円（月額）

● 運動器機能向上加算 238円（月額）

#### ● サービス提供体制強化加算I

（要支援1） 51円（月額）

（要支援2） 102円（月額）

● 食費負担 700円（おやつ代含む一食につき）

● 介護職員処遇改善加算I 介護報酬総単位数×サービス別加算率1.9%×地域  
単位10.54円の1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29~1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9:30 ~ 16:00

### 《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

### 《目標に対する取組状況》

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートしました。

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行いました。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。
- ⑧ 調査結果を掲示版に貼付し、利用者様へ報告致しました。
- ⑨ レクリエーションの充実：トランプ・マージャン・書道など、ご自身で選択していただきます。また好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきました。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けました。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしました。（折り紙・貼り絵等）



《利用者数（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
60	63	68	86	77	84
10月	11月	12月	1月	2月	3月
80	69	73	74	79	107

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ① 土日祝日を含めて、1名以上の職員出勤体制を継続しました。
- ② 地域の食事会（月1回以上）や民生委員児童委員の研修に積極的に参加し、交流を深めました。
- ③ 障がい者関係機関との事業を通して、地域包括支援センターの周知を行いました。ただし、地域住民への周知は今後努力が必要と思われ、食事会などで地域包括支援センターの周知を行う際に、併せてお知らせしていきます。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ① 月1回の区役所高齢担当との会議を継続しました。また、地域交流活動事業参加者からの個別相談者については情報を共有しています。
- ② 地域活動交流事業の介護予防目的の講座には月2回は参加し、必要に応じて個別支援をしてきました。
- ③ 地域の食事会に、月1回以上の参加をし、周知活動に努めました。
- ④ ②について、地域包括支援センターと地域活動交流事業で連携しました。

### 3 職員体制・育成

- ① 主任ケアマネジャーは滞りなく交代できました。各事業の基準を満たした配置を行いました。各事業の基準を満たした配置を行いました。
- ② 各事業にサブコーディネーターを配置し、担当制にしています。毎月の会議や日々の業務の中で地域活動交流コーディネーターがサブコーディネーターOJTに努めました。
- ③ 各職員の資質向上を目指して毎月施設内研修を実施しました。講師は職員・外部講師で担当しました。その他に法人リーダー研修も2泊3日の宿泊研修や継続的に複数回実施しました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ① 多職種ミーティングを6月に実施し、医師、看護師、民生・児童委員、家族会、シニアクラブ間の相互交流を図ると共に課題と対応を共有しました。異なるケースについて地域ケア会議（11月）を重ねることにより、消防署との情報共有、地域での見守り体制（安心カード、回覧板、ふれあい会活動）を関係者間で再確認しました。
- ② 担当民生・児童委員研修会に参加し、情報交換、共有を図りました。地域の見守りから寄せられた個別ケースを地域関係者と連携しながら支援し、制度やインフォーマルサービスにつないでいます。
- ③ 地区社協活動などの地域の福祉保健活動に企画の段階から参加し、情報交換、共有し活動の支援を継続しました。
- ④ 地域の福祉保健の問題を把握し、それに対する具体的な取り組みが行われておりその活動を支援するため関係機関（小学校・警察署・交通安全協会など）と地域の活動者が情報交換、共有また交流会を行いました。
- ⑤ ボランティア交流会を開催し、情報交換や活動紹介を行える場・機会を設けました。

## 5 区行政との協働

第3期西区地域福祉保健計画査定に向けた検討会に職員が参加しテーマ別に、にこまちプランの計画に取り組みました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 地域における福祉保健活動団体や人材などの社会資源（地区社会福祉協議会・連合町内会・地区民生児童委員協議会・地域のサロンや昼食、配食サービスなど）を把握し、情報提供をしました。
- ② 奇数月年6回の『みやざき』、毎月発行のまもり隊活動（地域防犯、登下校パトロール）を支援する「まもり隊ふれあい情報通信」を発行し、町内回覧や掲示、当事者へ直接配布を行いました。またホームページを定期的に更新しました。
- ③ 会場利用団体の活動を紹介し、交流会を開催しました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ① 地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、PR広報（広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示など）活動しました。
- ② 空き室情報を利用者に分かりやすいように、随時館内掲示でお知らせしました。
- ③ 福祉保健活動のニーズを定期的に情報誌にて提供しました。

### 3 自主企画事業

- ① 昨年開催した認知症予防と現状維持・現状改善を目指した学習療法サロンの継続と今年度は介護予防も目指し、体操や料理、歌などを取り入れ毎週定期的に開催しました。
- ② 上記事業開催に伴う、高齢者支援ボランティアを育成しました。
- ③ 生活習慣病予防、改善を目指した体作り講座を開催し、地域活動リーダーを育成しました。
- ④ 引き続き、男性参加率の多い活動の場の提供を開催しました。
- ⑤ 顔の見える子育て支援者のネットワークの交流、情報交換やイベント活動を行いました。
- ⑥ 地域住民交流事業とケアプラザ啓発の事業に力を入れました。
- ⑦ 地域住民、施設利用者などのアンケートや声から、ニーズに合った事業を開催しました。
- ⑧ 自主化した団体への支援（共催事業や地域などでの活動の場）を行いました。
- ⑨ 継続的な障がい者支援事業のスタートを目指しました。
- ⑩ 65歳未満や、介護保険サービスなどの利用対象外の地域住民に、状況に応じて既存の講座で受入れをしました。また、それに伴うボランティアの育成を行いました。

#### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ① 各自主事業に合ったボランティアの育成を行いました。またボランティア講座を受けた方を自主化した団体へ活動支援を引き続き行いました。
- ② 地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を行い、実活動へ繋げました。
- ③ ボランティア活動のための、情報紙を定期的に発行し館内に掲示しました。
- ④ サブコーディネーターをボランティアコーディネーターとして育成しました。
- ⑤ 西区社会福祉協議会、区内のケアプラザと連携しボランティアの育成に努めました。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

- ① 土日祝日を含めて、1名以上の職員出勤体制を継続し、結果、新規相談者が当日中に相談できる体制となりました。
- ② 月1回以上は地域の食事会に参加し、地域住民が重症化する前に相談できるよう、関係づくりをすすめてきました。
- ③ 虐待対応時には、被虐待者である高齢者の保護だけでなく、養護者支援のために関係機関と連携しました。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

認知症をテーマとした多職種ミーティングを6月に実施しました。人との関係構築困難なケースに対し、関係者間で認知症の理解と個別対応方法を意見交換、共有しました。このような課題は、時間を追って対応の効果を検証する必要があると考えています。

#### 実態把握

- ① 四半期ごとに、相談票から統計を取り、資料としてまとめ、地域ごとの相談件数から、どこの地域に周知が必要なのかを検討したりすることができました。それにより、医療機関からの相談の減少、などが把握できたので、今後の動向をみながら関係機関と連携し、より一層の実態把握をしていきます。
- ② 月に1回以上は食事会へ出向きましたが、その中で受けた相談をカウントするにとどまり、動向をみる記録としてはまとめませんでした。来年度は記録としてまとめ、地域の声を拾い上げたいと考えています。
- ③ 介護保険の代行申請をしたときには、必ず、1か月後に連絡し、早期にサービスにつなげるなど、必要な対応をとりました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- ① 4 包括と区役所、社会福祉協議会共催で、下半期に 3 回、「人生これから講座」と題し、権利擁護事業の普及啓発を行いました。また、ケアプラザ単独で、相続についての講座を開催しました。
- ② 成年後見制度についての相談については、1 件、ケアマネジャーから相談を受け、受診同行などにおいて連携し活動しました。

### 高齢者虐待

- ① 虐待やその疑いがあるケースについて、速やかに虐待相談受付票を提出することとし、3 件の報告をして、同行訪問をしました。被虐待者の保護だけでなく、虐待者の支援について関係機関と連携を図りました。
- ② 認知症サポーター養成講座の中で、認知症と虐待が密接に関係していることを周知しました。
- ③ 西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」との交流会を 1 回開催しました。

### 認知症

- ① 高齢者支援ボランティア講座の「認知症の方や家族の方へのサポートを知る」の中で、「認知症サポーター養成講座」を 4 月に開催し、8 名の参加者がありました。
- ② 地域住民の方を対象に、7 月に認知症サポーター養成講座を開催し、32 名の参加者がありました。
- ③ 伊勢町のふれあい会主催の食事会で、30 名に 30 分間認知症のお話をしました。
- ④ 来年の 1 月に民生委員とケアマネジャーとの交流会の場で、エーザイの方に認知症の薬についての講座を依頼しました。

## 3 介護予防マネジメント

### 二次予防対象者把握

- ① 介護予防講座・食事会・宮崎祭りで、基本チェックリストを 72 名分実施しました。1 名の方のケアマネジメントを行い、その方を霞ヶ丘でのウォーキング講座と元気づくりステーションにつなげました。
- ② 口腔機能低下の該当者に対し、2 月に健口づくり口腔指導フォローアップコース（基礎編・応用編）を 2 回開催しました。

### 介護予防ケアマネジメント力

- ① 定期事業の玄米ダンベル・ニギニギ体操を通して、要介護状態にならないよう働きかけを行いました。継続して行えるよう各自ダンベルを購入していただきました。また、元気づくりステーションを立ち上げ参加を促しました。予防の必要性を講座の中で説明し、区や包括で行う介護予防の講演会や講座を周知し、参加へとつなげていき、宮崎ケアプラザのエリアからは毎回多くの参加者がありました。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

民生委員とケアマネジャーとの交流会を1月に開催しました。交流を図るとともに、地域資源の確認と課題について意見交換を行いました。役割は違っても目指すことは同じという意識を持ち、お互いが連携できることを確認することができました。

##### 医療・介護の連携推進支援

- ① 在宅医療相談室に出向き、情報収集や相談をし、一般市民への情報提供や連携を深めました。
- ② ケアマネ研究会との共催事業を開催すると共に、連絡会へ参加してニーズ把握に努めました。
- ③ 「にしっこ」総会に出席し、顔の見える関係作りを行いました。

##### ケアマネジャー支援

ケアマネサロンを7回開催しました。区役所との共催には55名の参加がありました。他サロンにも20人前後の参加があり、研修後のアンケートでは、業務を行う上で勉強になったという感想や、今後行ってほしい研修などの意見が多く寄せられました。

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

製薬会社と共催して多職種ミーティングや、民生委員・ケアマネジャー交流会を開催しました。認知症の理解、対応、治療薬の薬効等の知識を深めながら、お互いの連携作りに努めました。

#### 介護予防事業

##### 介護予防事業

- ① 定期事業の玄米ダンベル・ニギニギ体操を4月～9月の半年間月2回開催し平均17名の参加者がありました。その後10月より元気づくりステーションとして野毛山荘に立ち上げました。
- ② 遠方受講者のために霞ヶ丘丘友会館で元気なうちから介護予防ウォーキング講座を7月～12月の月1回開催しました。
- ③ 口腔機能低下の該当者に対して、2月に健口づくり口腔指導フォローアップコース（基礎編・応用編）を2回開催しました。

#### その他

毎月1回以上は地域の食事会に参加し、地域ケアプラザの周知に努めました。地域との関係をより強めることで、地区のイベントで例年はチラシを配布するにとどまっていたところ、地域住民のみなさまの前で発言する機会をいただくなど、次のステップにすすむことができました。

# 平成26年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市宮崎地域ケアプラザ

平成26年4月1日～平成27年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	20,895	23,630	149				
	介護保険収入				5,591	17,371	58,561	5,861
	その他							
	利用者負担金	1,991	143				6,546	685
	職員給食費等	8	156			239	690	
	利用者給食費等						5,969	
	委託費(認定調査)					935		
	<b>収入合計(A)</b>	<b>22,894</b>	<b>23,929</b>	<b>149</b>	<b>5,591</b>	<b>18,545</b>	<b>71,766</b>	<b>6,546</b>
支出	人件費	12,987	19,450			18,615	44,227	
	事務費	2,405	505			492	3,347	
	事業費	452	124	121	3,829	4	16,760	
	管理費	6,708	1,783			49	7,929	
	その他							
	施設使用料相当額						3,990	
	指定額等	496	882					
追加契約	1,814							
	<b>支出合計(B)</b>	<b>24,862</b>	<b>22,744</b>	<b>121</b>	<b>3,829</b>	<b>19,160</b>	<b>76,253</b>	<b>0</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-1,968</b>	<b>1,185</b>	<b>28</b>	<b>1,762</b>	<b>-615</b>	<b>-4,487</b>	<b>6,546</b>



## 平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者 しあわせサロン宮崎 毎月第2水曜日	70歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 40名 500円他実費	298,130	22,380	275,750	2,227	289,183	6,720
子育て 親子わくわくプラザ 毎月第1月曜日	1歳～未就園親子 なし 原則なし	34,276	23,476	10,800	13,267	14,289	6,720
子育て ぽっ・ぽっ・ぽっWith みやざキッズ	未就園親子 なし なし	40,879	40,879	0	30,065	4,094	6,720
子育て 天使のほっぺ 毎月第1金曜日	0歳児親子・プレママ 登録15名 原則なし	24,306	24,306	0	9,926	7,660	6,720
子育て パパあのおね! 毎月土曜日	1歳～未就園父子 登録15名 原則なし	18,400	18,400	0	0	11,680	6,720
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン 毎月原則第3土曜日	地域住民誰でも 40名 500円	227,123	4,877	232,000	183,743	43,380	0
地域 フラダンス講座 ゆっくり (包括と共催) 全12回・全10回	地域住民誰でも 各10名 全12回 12000円 全10回 10000円	154,864	72,864	82,000	142,544	0	12,320
地域 ウクレレ講座 ゆっくりコース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 各10名 全12回 12000円 全10回 10000円	145,793	15,793	130,000	130,295	15,498	0
地域 ウクレレ講座 もっともっとコース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 各10名 全12回 12000円 全10回 10000円	143,665	665	143,000	143,665	0	0
地域 脳いきいき宮崎マージャンクラブ 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 28名 1回300円	171,163	5,163	166,000	61,235	96,488	13,440
高齢者 大人の学校 毎週火曜日	地域住民誰でも 15名 月4回 1500円	300,378	16,878	283,500	75,684	202,350	22,344
地域 男性のための料理教室 毎月第3水曜日	男性ならだれでも 7名 500円	44,178	1,678	42,500	0	38,578	5,600
地域 Boy'sキッチンワーカーズ 毎月第2月曜日	男性ならだれでも 7名 500円	31,577	3,577	28,000	0	25,977	5,600
地域 おりがみクラブ 毎月第3火曜日	地域住民誰でも 10名 1回100円	42,319	22,119	20,200	42,319	0	0

## 平成26年度 自主事業収支報告書

地域 ウクレレWS 単発 4/19	地域住民誰でも 19名 4000円	84,227	8,227	76,000	83,527	0	700
ボランティア パティシエ・ガールズ 毎月第1土曜日	地域住民誰でも 3名 なし	0	0	0	0	0	0
地域ボランティア育成 高齢者支援ボランティア講座 単発 全3回 4/1・8・15	地域住民誰でも 20名 100円	1,120	120	1,000	0	0	1,120
小学生 小学生パンづくり教室 単発 1回 4/28	小学生親子 20名 300円	14,043	4,043	10,000	0	13,483	560
地域 まもり隊全体会 単発 1回 4/10	活動者 50名 なし	0	0	0	0	0	0
地域 新春宮崎マーじゃん大会 単発 1回 1/31	地域住民誰でも 32名 500円	16,943	943	16,000	0	16,943	0
地域 ウクレレライブ 単発 4/19	地域住民誰でも 20名 1500円	34,111	4,111	30,000	33,411	0	700
地域 歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い 単発 1回 6/17	地域住民 33名 4000円	135,728	3,728	132,000	0	134,888	840
小学生 小学生自由研究フラワー 単発 1回 7/23	小学生以上 12名 1000円	12,560	560	12,000	0	12,000	560
障がい者・子ども 小学生クッキーづくり教室 単発 8/7	小学生以上 22名 300円	11,154	4,554	6,600	5,000	6,154	0
障がい児・者 夏余暇支援事業 単発 1回 8/16	障がい児者 16名	15,573	12,893	2,680	7,791	7,782	0
地域 お正月飾り教室	地域住民 20名 2500円	50,000	0	50,000	0	50,000	0
地域 さわやか宮崎マーじゃん大会 単発 5/17	地域住民 31名 1000円	66,284	24,784	41,500	0	64,884	1,400
地域 第14回 宮崎まつり 単発1回 10/19	地域住民誰でも なし なし	233,377	100,297	133,080	36,705	193,872	2,800
地域 大人のクリスマスリース	地域住民誰でも	40,000	26,000	14,000	0	40,000	0
地域 ウクレレ歌う会	地域住民誰でも	17,265	5,265	12,000	16,705	0	560
小学生 小学生のクリスマスリース作り講座 単発1回 12/1	小学生 20名 1000円	30,560	14,360	16,200	10,000	20,000	560



# 平成26年度 自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

## 定期事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①高齢者支援事業 ミニデイ 『しあわせサロン宮崎』	目的：家庭に閉じこもりがちな高齢者に外出の機会をもち、仲間同士の見守り、CPとの関わり方も随時増えていく場。介護予防啓発。 内容：会食会・レクリエーション	毎月第2水曜日 11：30～ 14：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②子育て支援 『わくわく親子プラザ』	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てをしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：季節に合ったプログラムや親子レク、食育、座学ほか。	毎月第1月曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③子育て支援事業 『ぽっ・ぽっ・ぽwithみやぎキッズ』	目的：乳幼児親子同士とおはなし会ボランティアグループ・CP職員が子育て相談などを行う。読み聞かせ、手遊びなどで交流を図る。	原則毎月 第3月曜日 10：30～ 12：00 12開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④子育て支援 『天使のほっぺ』	目的：0歳児親子を対象。お母さん同士とCP職員との交流の場。子育ての相談・支援。 内容：サロン型を中心に、赤ちゃん体操や子どもの発達、離乳食の座学や子育ての情報交換など。	毎月第2金曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑤子育て支援 『パパあのおね!!』	目的：お父さん同士とCP職員との交流の場。地域の担い手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊びを中心に、子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコミュニケーションを図る。	毎月第3土曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑥地域支援事業 『ワンコイン音楽サロン』	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康作りを支援します。地域住民・異世代交流の場。 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導。	毎月第1土曜日 13：30～ 15：30 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑦地域支援事業 『おりがみクラブ』	目的：おりがみを通した脳トレ。介護予防。地域住民の交流。	毎月第3火曜日 12回開催 10：30～ 12：00

# 平成26年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑧地域支援事業 『脳いきいき宮崎マージャンクラブ』	目的：マージャンをツールとした介護予防・引きこもり防止。異世代交流・地域交流をメンバーで図る。 内容：宮崎地域CP版のルールを作り、参加者でマージャンを楽しむ。メンバー同士の交流。	毎月第2・4土曜日 13：30～ 17：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑨地域支援事業 『Boy'sキッチンワーカーズ』	目的：男性の初心者向けの料理教室。 内容：包丁の持ち方から、食材の切り方、調味料の軽量の仕方、レシピの味方など、料理の基本から簡単な食事を作る。	毎月第3火曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑩地域支援事業 『大人の学校』	目的：学習療法を用いた、認知症の予防、改善、介護予防を目指したサロン。 内容：学習療法、参加者同士、サポーターとの交流。	毎週火曜日 13：30～ 15：30 48回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑪お菓子作りボランティア 『パティシエ・ガールズ』	目的：お菓子をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：地域住民の集まる活動（講座や地域のイベント）にお菓子を作り提供する。	毎月第1土曜日 12回開催 10：30～ 12：00

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

## 平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
①介護者のつどい	介護をしている方	864	864	0	0	864	0
	13						
	0						
②わたぼうし	若年性認知症の家族	0	0	0	0	0	0
	0						
	0						
③介護予防サロン	65歳以上	76951	16951	60000	66822	10129	0
	206						
	3000						
④フラダンス講座	地域住民	103599	21599	82000	97999	5600	0
	312						
	全10回 10000円 全12回 12000円						
⑤認知症サポーター養成講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	40						
	0						
⑥権利擁護事業 (単独単発)	地域住民	5000	5000	0	5000	0	0
	26						
	0						
⑦権利擁護事業 (4包括社福)	地域住民	5000	5000	0	0	0	5000
	92						
	0						
⑧民生委員児童委員とケアマネジャー交流会	民生委員・ケアマネジャー	2721	2721	0		2721	
	32						
	0						
⑨ケアマネジャー学習交流会(4包括主マネ)	ケアマネジャー	3900	3900			3900	
⑩宮崎まつり	地域住民	73896	72496	1400	0	73896	0
	450						
	0						
⑪障がい児・者冬余暇	障がい児・者	6402	6402	0	0	6402	0
	60						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成26年度 自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①介護者のつどい	日頃介護している方が、同じ介護している仲間と時間を共有し、支えあう場として、実施。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②わたぼうし	若年性認知症の方とその家族の憩いの場を目的に、前年度までは戸部本町ケアプラザ単独事業だったものを西区包括支援センター共催事業として、内容を見直して行う予定だったが、認知症カフェとしての立ち上げの声があげぼの会からあがった。	0回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③介護予防サロン	高齢者の介護予防・憩いの場として、玄米ダンベル体操を実施した。その後横浜市野毛山荘に元気づくりステーションを立ち上げ継続につなげた。参加者は延べ206名。	半年間（4月～9月） 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④フラダンス講座	①健康な体をつくる②健康な心をつくる③健康への意識づけ④地域住民の交流の場⑤様々な世代の交流の場として実施した。参加者は延べ312名。 内容：フラダンス	通年：23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑤認知症サポーター養成講座	①高齢者支援ボランティア講座の中で講座を開催した。参加者は8名。 ②地域住民の方を対象に講座を開催した。参加者は32名。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑥権利擁護事業（単独単発）	地域住民向けに、司法書士を講師として、相続についての講座を開催した。参加者は26名。	2月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑦権利擁護事業（4包括社福）	高齢期の暮らしについての講義（成年後見制度についてを含む）、退院し在宅生活にもどるのあたりの病院の相談室利用についての講義、介護保険保険についての講義を実施した。参加者は延べ91名。	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑧民生委員児童委員とケアマネジャー交流会	近隣ケアマネと地域の民生委員との交流を目的に、グループワークを含めた講演会を実施した。参加者32名。	1回

# 平成26年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑨ケアマジヤー学習交流会(4包括主マネ共催事業)	西区、近隣ケアマネ、一人ケアマネどおしの交流をはかると共に、有料老人ホームの勉強会を行った。参加者は11名	7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑩宮崎まつり	①高齢者対象に身体測定（握力・身長・体重・足力測定）を実施した。参加者は30名。 ②エコバックお絵かきクラブを実施。参加者は14名。	10月18日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑪障がい児・者冬余暇	障がい児者の余暇活動でお餅つきを実施（自立支援協議会）。参加者ボランティアを含めて60名。	1月1回



## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
『まもり隊』 全体会	目的：昨年度の振り返りと今年度の活動の確認。 内容：各種関係機関との情報交換・交流。活動の確認や課題解決に向けての話し合い。	4月8日(木) 10:00~12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援 『ボランティア講座』	目的：「大人の学校」のボランティアの育成する。②地域の認知症のサポーターを育成する。 子育てをしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：高齢者・認知症のことを学び、支援の仕方を学ぶ。	4月1日・8日・15日 (火) 13:30~15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生 『パン作り』	目的：①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。 ②異学年、異小学校、異世代の交流を行った。	4月2日(土) 10:00~ 12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
勝誠二さんのWS &ライブ	WS目的：①異世代の交流。②ケアプラザの啓発、周知。③地域福祉活動への種まき。 内容：勝誠二さんのウクレレ指導。 ライブ目的：①異世代の交流。②ケアプラザの啓発、周知。③地域福祉活動への種まき。 内容：勝誠二さんのウクレレ演奏。	4月19日(土) 13:30~ 15:00 4月19日(土) 15:30~ 16:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生おもしろ 科学実験教室	目的：①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。 ②異学年、異小学生、異世代の交流。③地域近郊の施設との連携。 内容：神奈川県青少年センターの職員にご協力いただき科学実験ショーと科学の不思議工作を作成。	5月6日(火) 10:00~ 12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやかマー ジャン大会	目的：①マージャンをツールとした介護予防、引きこもりの防止。②参加して下さった方を単発から定期事業に繋げる。 内容：マージャン大会。	5月17日(日) 10:30~ 15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウクレレで歌う 会	目的：CPになかなか来館しない世代(20~40代)と高齢者の異世代交流。地域ケアプラザの周知、啓発。 内容：ウクレレをツールとした参加型演奏会。	6月19日(土) 14:00~ 16:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域コミュニ ケーション講座 『歌舞伎鑑賞と 昼食のお誘い』	目的：「歌舞伎」をツールに地域住民を集め、地域ケアプラザ知って頂き交流を深める。 内容：①地域ケアプラザを知る。②地域住民同士の交流。 ③歌舞伎鑑賞。	6月27日(日) 12:00~ 17:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生の自由研 究	目的：①小学生親子に地域ケアプラザを知って頂く。②異学年、異学年、異小学校、異世代の交流。 内容：貝やブリザードフラワーなどを使ったタペストリー。	6月23日(月) 10:00~ 12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作業所のおいしいクッキーを作ろう。小学生のクッキー教室	目的：障害者作業所のメンバーと小学生の交流。交流する事で障がい者の事を知っていただく。 内容：①障害者啓発。②クッキー作り。	8月7日(木) 10:30~ 12:30
事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援(自立支援協議会余暇支援分科会)	目的：障害児たちと地域住民の交流。ボランティアとの交流。障害者の啓発。 内容：地域のおまつりに参加して、夏の一夜を楽しむ。	8月16日(土)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
第15回宮崎まつり	目的：①地域住民とCPの交流の場。②地区社協と共催することで地域住民との繋がりを深めて行く。③CP啓発。 内容：福祉保健活動をなされている地域住民や障害者施設、団体による模擬。貸室団体による催し物など。	10月18日(土) 11:00~ 14:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生クリスマスリース作り講座	目的：①小学生に地域ケアプラザを知って頂く。②異学年、異小学校、異世代の交流。 内容：クリスマスリース作り。松ぼっくりでツリーを作り、デイスの利用者にプレゼントして交流を図る。	11月 10:00~ 12:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスリース作り講座	目的：地域住民の交流。②ケアプラザの周知。 内容：クリスマスリース作り。	11月 13:30~ 15:30
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウクレレ歌うか〜い	目的：CPになかなか来館しない世代(20~40代)と高齢者の異世代交流。地域ケアプラザの周知、啓発。 内容：ウクレレをツールとした参加型演奏会。	14:00~ 16:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
正月飾り作り講座	目的：①地域住民の交流。②ケアプラザの周知。 内容：正月飾り作り。	10:00~ 12:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
マーじゃん大会	目的：マーじゃんをツールとした介護予防。引きこもり防止。②参加して下さった方を単発事業から定期事業へ繋げる。 内容：マーじゃん大会。	10:30~ 15:30
事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援(自立支援分科会共催)	目的：異世代交流による住みよい地域作り。幼稚園児と高齢者が交流する事で地域に戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も地域の幼稚園児を意識した生活を送ることで、声掛けや見守りの活動を進んでしてくれます。また、幼稚園側も地域に興味を持ち、地域のことを知ろうと様々な活動に協力してくれる。 内容①高齢者と幼稚園児の交流②レクリエーション③会食会	1月25日(日) 11:00~ 14:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>目的: 当ケアプラザにてボランティア活動をしている方・団体と地域の協力団体との交流の場。様々な方・団体のボランティア活動を知り情報交換し連携することで地域の中での、福祉保健活動をしやすい環境をつくる。</p> <p>内容: ①情報提供②情報交換③職員とボランティアの交流</p>	